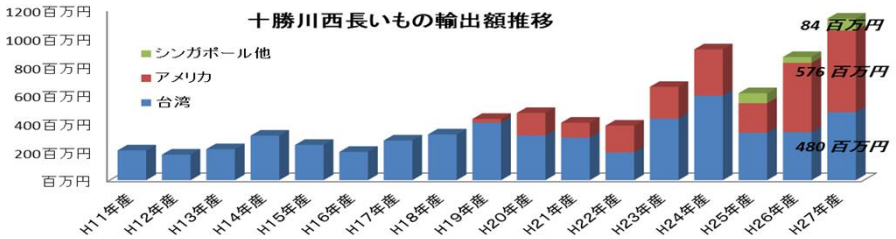
地 域 の 概 要

十勝川水系札内川の左岸に拓けた畑作を中心とした農業地帯

・てんさい、ばれいしょ、収穫量全国１位（帯広市）
・スイートコーン収穫量全国1位（芽室町）
・ながいも（やまのいも）収穫量全道１位（帯広市）
・ごぼう収穫量全道1位（芽室町）

ながいも ～ 平成11年から海外輸出（台湾、アメリカ、シンガポール）を開始
地域ブランド「十勝川西長いも」の輸出額は年々増加し、
平成27年産は約11.4億円の輸出実績！！



ながいも輸出体制を活用し、物流コストを抑えた小ロット輸出を実現！
輸出先国での新たな品目の販路拡大を進めている。

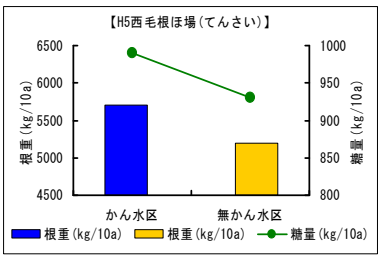
ながいも産地の取り組みとして・・・
・農林水産祭杯「天皇杯」を受賞！
・日本農業賞「集団組織の部」で大賞！

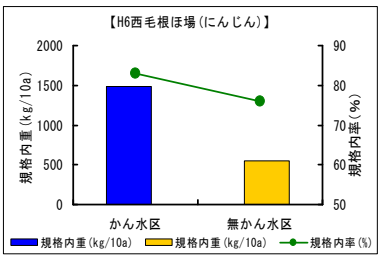
地 域 農 業 の 現 状 と 課 題

本地域では、農産物の「地域ブランド」が確立しているものの、帯広区域はかんがい用水が手当てされておらず、降雨に依存。

畑かん区域の拡大

かん水による
作物の『増収』『品質向上』が期待



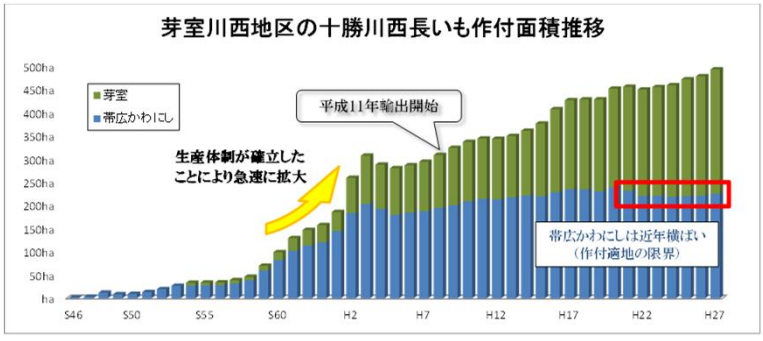


地区内の畑かん試験結果事例より　※効果算定上の増収率とは異なる。

「地域ブランド」として確立されているながいもは、農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づく輸出重点品目に選定。しかし、地区内においては輪作体系に伴う作付適地の確保が課題。
“ながいも”に続く『新たな作物』が必要。

畑かん区域の拡大

高収益作物を展開



地域の主要作物であるてんさいは、経営規模拡大に伴う労働力不足を補うために、育苗作業を省力化が可能となる直播栽培の導入を推進。しかし、土壌の乾燥や強風等の自然条件が課題。

畑かん区域の拡大

畑かんの導入は『営農省力化』に貢献

事 業 目 的

本地区は、北海道帯広市、河西郡芽室町に位置する20,637haの農業地帯であり、小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類の畑作物を主体に、ながいも、スイートコーン等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されている。

地区内の用水施設は、国営かんがい排水事業芽室地区(昭和56年度～平成19年度)により整備され一部区域に配水されているが、近年の営農状況の変化に伴い水需要が変化※1しているとともに、用水施設が未整備の区域ではかんがい期間の降雨量が少ないため、農作物の生産や営農上の支障となっている。

また、美生ダムでは管理施設に経年的な劣化が生じており、施設の維持管理に苦慮※2している。

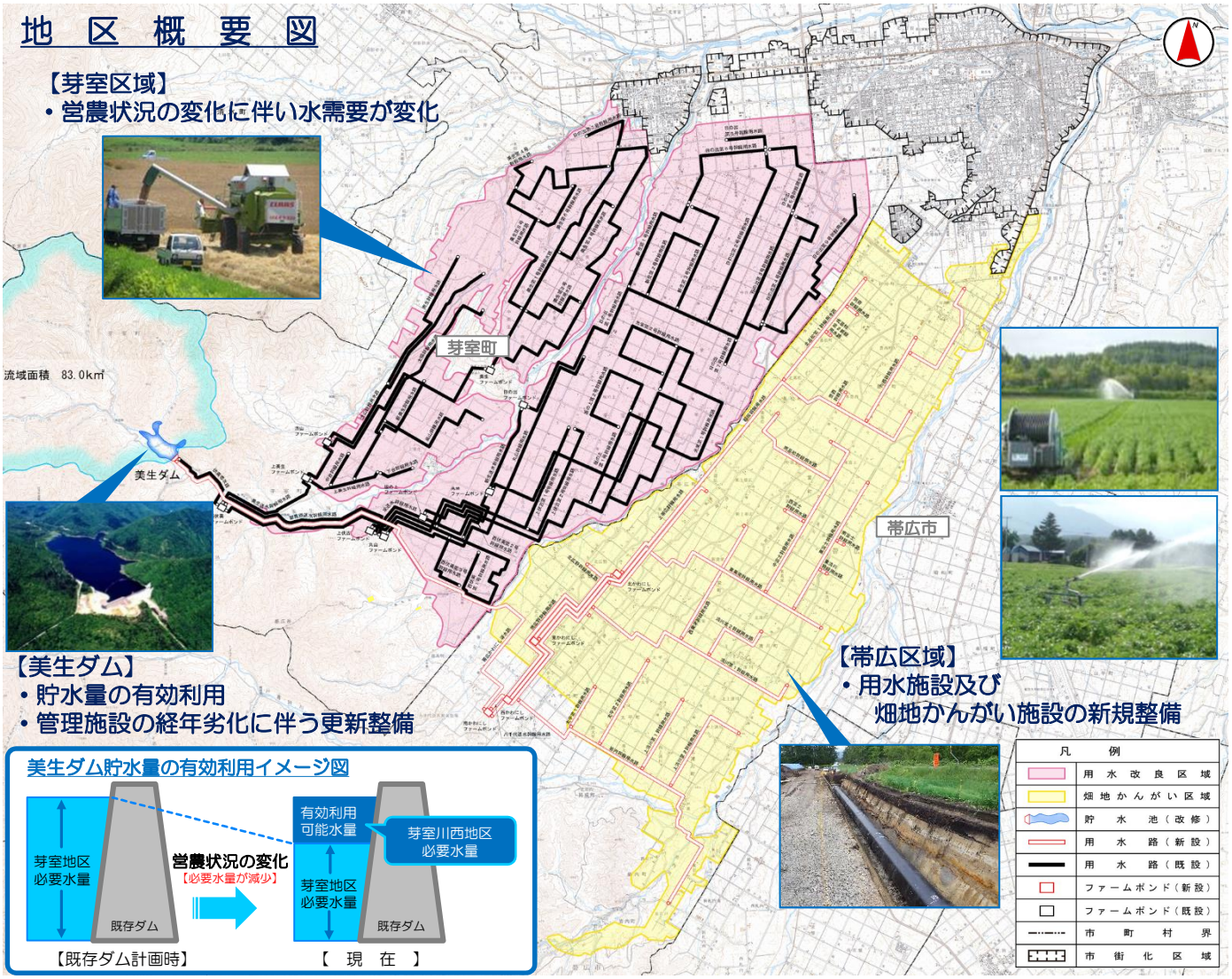
このため、本事業で水需要の変化に対応した用水再編を行うとともに、用水路及び美生ダム管理施設の整備を行い、併せて関連事業において支線用水路を整備することにより農業生産性の向上と維持管理の軽減を図り、農業経営の安定に資するものである。

※1　戸当たり耕地面積の拡大に伴い、省力的な小麦の作付面積が増加。小麦は水需要量が少ないため、生じた余剰を有効活用可能に。

※2　ダム管理に関する器機の故障が生じ、手作業での管理操作が必要となるなど、多大な労力を要するようになっている。

事 業 計 画 概 要

受 益 面 積 ： 20,623ha（畑20,623ha）
関 係 市 町 ： 北海道帯広市、河西郡芽室町
主要工事計画 ： 美生ダム 1ヵ所（管理機器改修、天端道路改修、小水力発電施設）
用水路（新設）27条140.5km
事 業 工 期 ： 平成29年度～

前 歴 事 業 ： 国営かんがい排水事業芽室地区（昭和56年度～平成19年度）
受益面積　12,140ha（うち排水単独350ha）
主要工事　美生ダム1ヵ所、用水路42条L=249km、排水路2条L=21km

地 区 概 要 図